

せいろうまち せ 聖籠町

議会だより



収穫は笑顔で

VOL.
75

夏休みの保育料 4000円 2P

生ごみモデル事業 順調にたい肥化 4P

8名の議員が一般質問 8P

6月定例会

平成18年第2回定例会は、6月20日から26日までの7日間の会期で開かれました。町長から行政報告があり、聖籠町手数料条例の一部改正する条例、聖籠町立幼稚園条例の一部改正する条例など12議案、専決処分5件が慎重に審議され原案どおり可決されました。

また、請願2件と陳情1件を採択し、請願1件を不採択、陳情2件を継続審査としました。30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める意見書など3件が可決されました。

一般質問では、8人の議員が教育、厚生、行政改革の推進などについて町政を質しました。

幼稚園保育料 夏期休業4000円と明記

聖籠町立幼稚園条例の一部を改正する条例について、今年3月に、幼稚園保育料の通常保育料を無料とする改正を行いました。が、休業日保育について保育料を明確に表現するため、条例の一部を改正するものです。

8月1日から8月31日までの保育料（午前8時30分から午後3時まで）は、一人月額4000円とし、早朝及び延長保育に係る保育料は、今までどおりです。



施行した段階で明記すべきと思うが、なぜ今改正するのか。

8月分だけ有料にするということだと思うが、冬季休業はうたっていない。夏と冬の差はどういう見解か。

修正点について町民に対する周知はどうするのか。

主な質疑

修正点の周知は

五十嵐利栄議員 この条例は、3月に施行されたばかりである。本来なら

4月の広報お知らせ号と申し込み時は口頭で

2年後はどうなる

中村恵美子議員 国民健康保険税が負担増となるので、経過措置として特別控除が設けられる。2年後、定率減税の廃止等、暮らしていく状況がでてきている。弱者に対しての方策的なものについて考えているか。

考えていない

町長 経過措置として設けられているものなので、それが終わったからといって方策的なものは、今のところ考えていない。

過年度分の理由は

加藤正之議員 老人保健特別会計予算は、3月で一般の補正をやつて、それでも足りなかったと町長は3月31日、830万円を追加している。まだ足りなくて専決がでているが、3月に予測できなかったのはなぜか。不可抗力でもあったのか。

最近では、こういう事例はなかった。どうしてこういう結果で、過年度分補正することになった理由はなにか。

制度改正分の見込み不足

町民課長 老人保健は医療給付費が年度を越えてからくる。例年だとそれに見合う額を過大に計上



してある。制度改正等ありシビアにみて、専決処分しないと支払いができないということ、歳出予算増させてもらった。

行政報告



渡邊町長

●社会福祉協議会の事務局を移転

●環境保全型農業の支援

●町の「教育指針」策定

平成17年度決算状況について報告します。

一般会計決算の状況は、歳入決算額76億3498万円、歳出決算額73億6840万円、繰越明許費413万円、実質収支2億6245万円の黒字決算となりました。

▼保健福祉事業について、介護保険制度の大きな柱である予防事業は、振動マシンの導入による運動器官の機能向上事業を行い、利用者からも好評

で効果も得ています。障害者自立支援法の施行に伴う自立支援医療並びに利用者負担制度の改正が4月から実施されました。これらに係る申請事務等、相談対応の一元化を進め、障害支援センターの設置を町社会福祉協議会にお願いしました。

このことから、社会福祉協議会との協議で、事務局及びヘルパー部門を保健福祉センターからホットルームともに移転します。

▼環境保全型農業の取り組みについて、減農薬、減化学肥料栽培の普及を目指している「こだわり農業支援事業」では、平成17年35・79ヘクタールから本年度114・18ヘクタールに増加しています。エコファーマーの認定については観光ぶどう園協議会が組織をあげて取り組んで、平成17年度2人、本年度1人が認定を受け、17人が申請中です。

▼教育委員会では昨年度から学力向上の課題を受け、データの収集と分析を行い、基礎学力の定着のためには基本的な生活習慣の定着が欠かせないとの結論を得ました。こども園、小学校、中学校の一貫した指導を前提とした重点指導内容を明らかにして「聖籠町立学校、園の教育指針」を策定しました。これによって教職員が学力向上に専念できる支援体制ができました。

一般会計補正予算

被用者小学校修了前特例給付(児童手当) 2487万円
 ホットルームとも改修工事 525万円
 次第浜船だまり船揚場設置工事 2500万円

平成18年度一般会計の既定予算に9334万円追加し、総額7億9834万円とするものです。

主なものに、国保事業 勘定繰入金960万円、児童手当2487万円、ホットルームとも改修工事525万円、次第浜船だまり船揚場設置工事2500万円、網代浜山辺川線道路改良工事1650万円、苔沼地区ポケットパーク整備工事300万円などです。

主な質疑

**なぜ当初予算に
しなかったのか**

加藤正之議員 次第浜船だまりの斜路設置工事の必要性は認めるが、補正

予算に計上するには多額すぎる。当初予算で計上すべきだったのではないか。

熟慮した結果

町長 本来は当初で計上すべきであったが、見積



▲ 生ごみ試験事業

金額が多額だったため、担当に再調査をさせた。その結果を検討して、今回、予算措置をした。

町単独で 補助する考えは

加藤正之議員 県の補助事業として、たい肥組合にマニアスプレーターを5月に導入する予定だった。しかし、県の補助がつかず、まだ導入されていない。

たい肥組合の本年度の事業計画には散布が予定されている。当初予算には、この事

業に対し町の補助金も計上されているのだが、県がダメなら町として、単独で導入を補助する考えはあるか。

町での対応を指示

町長 県と調整をしているが、補助の可能性は低く残念である。しかし、町としては、予算措置をしているので、かかる時期に財源更正して、担当に対応を指示している。

生ごみ処理の 進ちよく状況は

五十嵐利栄議員 試験的に4月から始まった、生ごみたい肥化事業の進ちよく状況はどうなっているか。生ごみの収集量、たい肥の出来高はどのくらいか。

順調にたい肥化 している

生活環境課長 生ごみの量は、1日平均150キログラム、たい肥は1日平均25キログラム。現在、たい肥の総量は900キ

ログラムである。**国体推進専門員は常勤か**

中村恵美子議員 国体に向けて、国体推進専門員を採用したが、常勤なのか。国、県などから補助等があるのか。

嘱託員で週30時間

社会教育課長 国体推進専門員は町単独で採用した。採用は4月からで、仕事は週30時間、嘱託員である。

施設園芸農家への 補助は

五十嵐利栄議員 油の値上げにより、経費が高騰している施設園芸農家への補助をどう考えているか。

状況をみて

町長 個人によって、経営の逼迫度に差がある。9月まで状況をみて判断する。

みなさんの

請願・陳情

採択となった請願
 第2回定例会では、地域住民より直接の声となります請願3件、陳情3件が審査され、請願2件を採択し、1件を不採択としました。また、陳情1件を採択し、2件を継続審査としました。

採択となった請願

◎出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願（提出者 連合下越地域協議会 議長 斉藤 徳明）

◎30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願（提出者 新潟県教職員組合北新支部執行委員長 丸山 久志）

不採択となった請願

◎「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」請願

不採択の理由

審査前日に政府が、輸入の再々開を決定してしまったため、請願の主旨が活かされなくなりました。ただし、考え方は共鳴できるので、意見書は提出する。

採択となった陳情

◎道路拡幅改良についての陳情（提出者 藤寄集落副区長 天尾 壮一郎）

継続審査となった陳情

◎ゲートボール場用地取得に関する陳情（提出者 外畑集落区長 佐藤 文夫）

◎通学歩道の設置に関する陳情（提出者 苔沼集落区長 高橋 訓弘）



▲ 藤寄集落からの陳情道路

8議員が質問

加藤正之 議員 (8ページ)

1. 育英資金の充実を
2. 人口増加施策は
3. 四選出馬の公約は何か

小川益一郎 議員 (9ページ)

1. 格差社会は是か否か
2. 公共用地買収の格差は

宮沢光子 議員 (10ページ)

1. どうする質の高い幼児教育
2. 障害の早期発見できないか
3. どうなっている受け入れ体制

五十嵐利栄 議員 (11ページ)

1. 障害者対応はどうなった
2. 四選出馬宣言の決意は

中村恵美子 議員 (12ページ)

1. 障害者の利用負担軽減を
2. 情報公開と個人情報保護は

高橋繁憲 議員 (13ページ)

1. 東港を核とした町づくり
2. 行政改革の推進状況は

堀常正 議員 (14ページ)

1. 聖籠海岸整備はなるか
2. 住所表示の大字廃止は

桜井 怜 議員 (15ページ)

1. 弁天瀉風致公園の将来像は
2. 町有地(赤道・水路)売却の考えは

ズバリ 直言

町政を問う

一般質問

読者の声



伊関 光江さん
(桃山)

「やさしい手」

介護を少々、体験しました。我町の介護サービスにより、どれほど経済的、精神的に助けられたかわかりません。

介護者へ手当が支給され、介護に要する費用の一部を申請すれば還付されること。ヘルパーさんを日曜日でも頼まれること。

家業の傍らでの介護でしたが、ケアマネージャーさんに悩みを聞いていただいたり、ヘルパーさんには何気ない会話の中で励まされました。

義母をデイサービスセンターでお世話を頼み、「介護の会」で福祉施設の見学、茶話会を楽しみ、介護者同士の交流ができました。

また、ショートステイを利用していただき、介護から開放されリフレッシュできました。

家族だけでは到底背負いきれない介護。あらゆるサービスを利用して、おかげ様で乗り

切ることができました。「やさしい手」を差し伸べて下さいました方々に心より感謝申し上げます。

先日、映画「明日の記憶」をみました。映画の中で「認知症」となった夫を支え、受け入れて、あくまでも前へ進んでゆく妻、枝実子。けなげな枝実子の姿に涙しました。

「やさしい手」のぬくもりが人の心を和ませ、癒し、元気にしてくれるところしみじみ思いました。

「豊かな町、聖籠」の特性を活かし、なお一層の介護サービスの充実をお願いします。

意見書3件を可決し国に提出

第2回定例会で3件の意見書が提出され、すべて全会一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

- ◎出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書
- ◎30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める意見書
- ◎「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」意見書



小川益一郎議員

問 小泉内閣の5年が9月に終わろうとしている。規制緩和、三位一体の改革、郵政民営化等々により、都市と地方に富の再配分が生じ、我が町にも離婚、自己破産、多重債務で悩んでいる人が多い。日本国中、どこでも、だれでも、いつでも平和で豊かで平等の社会を享受できるような社会でありたい。

格差の拡大は素直に喜ばないし政治の力でいい方法はないのか。

町長 小泉内閣の構造改革の旗印は、民間開放、規制改革である。日本型社会主義的資本主義と批判されてきた護送船団方式から脱却するため不要、過剰な規制は廃止し、事前の行政手続も極力簡素化し、事後チェック型に改めた。民間の創意工夫を最大限引き出す自由化政策を断行してきたからこそ、目覚ましい技術革新や、国際市場の中で、我が国経済の再生の道が開けたものと考えられる。

格差社会は是か否か

格差の評価難しい

改革の光と陰、所得格差、学力格差、地域間格差、自治体格差は、今までの日本社会では格差をできるだけ小さくしようと進めてきた。これが規制であり、保護主義であった。所得格差や学力格差は憂慮すべき問題である。競争と協力がほどよく共存する社会の実施に向け努力したい。

公共用地買収の格差は

実勢価格に比準

問 町の公共用地買収単価は各学区毎に定められている。亀代地区の宅地で最高11500円（平方メートル）山倉地区は6500円（平方メートル）である。10アール500万円の差となっている。宅地以外では10アール250万円の差である。山倉地区と亀代地区の税負担の差はほとんどない。

今までの町内の買収単価は統一されていたが、平成16年より格差が生じている。格差を小さくすべきである。

町長 公共用地の買収単価は、地価公示価格とか不動産鑑定価格を参考とした。社会通念上の実勢価格に比準するような形で、公共用地の買収単価の設定をしている。



▲ 高速道路が見える水田風景

育英資金の充実を

見直しの時期

問 町民所得が年々減少している中、教育委員会は育英資金の貸与基準を厳しくしたため、育英資金の申し込み者数が減少している。その現状をどのように捉えているか。

町長はかねてから育英資金の充実をはかると施政方針で表明し、総合計画でもそのようにうたっている。現制度をどのように充実する考えか。

教育長 そのときの状況にもよる。また、生徒数も徐々に減少しており、特に著しく減少しているとは考えていない。一部滞納がはじめており、貸付金なので確実な返済が重要である。貸付の所得基準変更は間違いでなかったと判断している。

町長 経済の変動により授業料や生活費も変化しているの、見直しの時期にきていると思う。

問 町では毎年140人前後の赤ちゃんが誕生し、130人前後の人が亡くなり、これまで10人前後の自然増加をしてきたが、今後は高齢化と共にそれが逆転する日は近い。

町長 町では毎年140人前後の赤ちゃんが誕生し、裏付けるように国立社会保障・人口問題研究所の市区町村別将来推計人口によると、町の人口は2015年頃から減少に転じている。

人口増加施策は

社会資本の整備を

ものと思われる。それら保障・人口問題研究所の市区町村別将来推計人口によると、町の人口は2015年頃から減少に転じている。

町の将来の人口計画はどのようになっているか。

町長 総合計画では18000人を計画しているが、非常に難しい現状だが、出生率の問題だけでなく、魅力ある町づくりをすることにより、流入人口の増加も見込まれる。2030年で最低限15000人を見込んでいます。

問 町は当面合併をしないと判断したが、10年経っても、合併しなくても良いような町づくりをしなければならぬと思う。四選出馬に際する公約は何か。

町長 何もしないで10年後に判断するのではなく、いかに合併しなくてもいい個性的な魅力ある町をつくるかである。常に町民と歩む開かれた町づくりなど、6つの町づくりを基本方針として、長期総合計画の後期基本計画と共に、聖籠町新行政改革大綱の推進を大きな柱にしたい。



加藤 正之議員



▲ 町の財産子どもたち

四選出馬の公約は何か

6つの公約を基本に



宮沢 光子議員

どうする質の高い幼児教育

教職員の研修を設定

問 平成18年4月、教育委員会は、聖籠町立学校の教育指針を策定した。今後、各学校、各園の教職員に理解され、浸透することを期待したい。今、全国的に小学1年生固有の問題現象が発生し、幼児教育のあり方に改めて関心が集まっている。

聖籠町の幼児教育は、以前から自由保育が表面に出ているが、保護者の価値観が変わり、少子化問題、幼保一元化など、子どもたちの状況も変わった。自由保育とは何でも好き勝手にさせ、放任することではない。幼児教育に携わる教職員は、どのような議論を重ね、具体的

的な情操教育と自己の意識改革をしているのか。

教育長 自由保育の見解が放任になるのではない。小、中学校との違いから、もう一度精査して、保育の質を高めていく必要がある。子どもが親や先生から愛情で満たされる情操教育、感性教育が一番大事。教職員の自己研修や研修の機会を設定したい。

障害の早期発見できないか

判定方法が未熟

問 近年、心理学や医学の進歩で、子どもの落ちつきのなさ、わがまま等の中に、軽度発達障害という障害があることがわかってきた。学校では、症状に伴い人的配置をして介助する形をとっているが、幼児

問 教育現場にボランティアとして、保護者などが入っているが、しっかりとした年次計画、カリキュラムの中で受け入れられているのか。
教育長 ボランティア活動については課題もあるが、まずは現場を見てもらいたい。ボランティア計画は作るよう指導したい。



▲夏本番 プール遊び

どうなっている受け入れ体制

園長・学校長の判断により

町の実態は、判定する方法が未熟である。介助員、教職員の研修などを行い、まずは早期発見を広めたい。

障害者対応はどうなった

法定雇用率今は未達成

問 障害者の法定雇用率2・1%以上が満たされていない理由は何か、いつまでに達成できる見込みか。

2年前具体的に指摘した、4力所の障害者施設改善も実施されていない。答弁の「前向きに検討する」という言葉が空虚に聞こえる。

社会福祉協議会や聖籠の杜職員の、定年延長や再雇用制度が4月から法制化された。役場職員も含めて、具体的取り組みをどう考えているか。

3月議会で公害問題を質問した。その後派川加治川へ流れる、ある企業の排水溝から、白濁した大量の水が流れている事実が発覚した。この水を分析したら協定基準値を超えるCODが検出された。このような実態や、総合計画中間答申でも指摘しているとおり、公害監視員の制度が必要と考

えるがどうか。

町長の報酬は県内35市町村中、上から12番。議員の報酬は上から21番。町職員の給料表は8年間

で9%以上も下がった。町長はまだ報酬を下げる考えはないか。

町長 障害者雇用は努力したが、今現在0・83%で法定雇用率を満たしていない。しかし、9月に障害者の採用予定があり、達成できる見込み。

障害者施設の改善は段階的に対応する。弁天潟トイレの改修は早急に必要と理解している。

社会福祉協議会職員の定年延長問題は、4月から対応している。聖籠の杜職員はこれに準じて実施する。役場職員については、今後県の情勢などをみて判断していく。

公害監視員の制定については、今少し時間をいただきたい。町長の報酬については、今後の推移をみて検討したい。

四選出馬宣言の決意は

志を新たに選挙に臨む

問 ①行政の長の任期をどう考える。

- ② 12年間やって、やり残したことはあるか
- ③ 町おこしをどう考える。
- ④ 将来の合併は。

町長 ①5期以上は多少疑問を感じる。②公約は継続性ある課題であり、ハード事業はほぼ達成できた。③町の産業にいかにつ



▲今日もがんばる杉の子のみなさん

加価値をつけていくか等。④合併しない町づくり視点において頑張る。

一口メモ

※COD (化学的酸素要求量) 水中の有機物(汚水)を酸化剤で化学的に分解した際に消費される酸素の量をいう。湖沼、海域の有機汚濁をはかる代表的な指標とされる。



高橋 繁憲議員

問 企業誘致条例の抜本的な見直しが必要である。県は17年東港を含めた阿賀野市、見附市、上越市の県営産業団地分譲価格の引き下げをした。県は企業誘致を進める中で、実勢を上回る価格では販売できないと判断したためと報じている。本町も昭和60年に施行した企業誘致条例を抜本的に見直し、残地面積23・4ヘクタールの売却に東港立地企業との産業

町長 大手企業の広大な面積取得で産業振興、発

別懇談会の実施は、平成16年にも提言しているが、現況はどうか。東港立地企業に光ファイバーの推進をすべきでないか。アルビレックス新潟とジャパンサッカーカレッジの経済波及効果はどうか。新潟市は19年度に政令都市を目指しているが、本町はどう対応しているのか。

展に寄与する実態があれば県と協調するが、現時点では見直す必要がない。産業別懇談会を求める必要は現在はない。アンケートによると、40社に満たない状況であり、光ファイバーの設置は状況を見ながら対応する。

アルビレックス新潟等の経済波及効果の算出は難しい状況である。マクロ的な試算では、約3億円と思う。

新潟市との連携は大切である。現在、新潟市長と懇談をし、東港の諸課題を話し合っている。

東港を核とした町づくり 見直す必要性はない

障害者の利用負担軽減を

アンケートや意見を聞いて



中村恵美子議員

問 国保法では、特別の事情や公費医療の対象者は資格証の発行が適用除外になっている。北海道旭川市のように借入金返済のために保険料の納付が困難、世帯の中に失業者がたような場合も特別の事情に該当させるべきでないか。老人保健施設や介護療養型施設では、補足給付の対象外で市町村民税が非課税でない人が入所者の6割を占め、負担増の影響は深刻である。期限を区切った入所で、居住を想定している施設ではないのに居住費が徴収されている。町単独で軽減措置できないか。障害者自立支援法は、応能負担から応益負担に

変わったことなどにより、障害者の負担増は深刻である。利用者負担の軽減はできないか。

町長 資格証の発行に伴う適用除外の考え方として、資格証の交付は、できるだけ世帯主や被保険者と接触する機会を確保して保険税の納付相談、納付指導に努めている。災害、その他の政令で定める特別の事情があると保険者が判断できる場合には、交付を見合わせることもある。

老人保健施設や療養型施設は、基本的には入所費が定められている。しかし、実態を含めながら福祉のさらなる充実を掲げているので、真に困っている状況下であれば、町の新たな施策で考える必要性もあると思う。障害者自立支援法に基づく利用者負担についての考えは、障害者福祉計画の策定の中で、アンケートや施策をどう反映させるか。意見を聞きながら調査し、計画づくりの

最中である。その結果をもとにして、独自政策も計画づけできるものであれば対応をはかりたい。

行政改革の推進状況は

議論し検討している

問 新行政改革大綱実施計画の中で、入札制度改革は、公共工事の1層の適正化、透明性のある入札の実施、契約制度の見直しを取り上げ、17年度の検討内容と18年度の取り組みの現況はどうか。

町長 自治体の規模、地域の実態、受注者の実態等、地元企業の育成の視点からも今後、適正化に資するため議論の過程である。



▲アルビレックス新潟のサポーター急増

情報公開と個人情報保護は

個々の案件により判断

問 町長は、どこまで情報公開し、個人情報の保護をするのか。

町長 情報公開条例でも、個人情報開示できない。個人情報保護条例の、

個人情報開示は、本人への開示が基本である。しかし、議会等から求められ、相当な理由と認められる場合は提供できる。



▲新しい施設 グループホームせいろう



桜井 怜議員

問 町は弁天瀉風致公園に、今年度と来年度の2カ年計画で、ビオトープによる瀉の景観づくりを計画している。

町長 第3次町総合計画の中で、緑化の推進と公園整備をあげており、その中でも弁天瀉風致公園はその中心をなす、重要なものと考えている。

備計画を立てている。ビオトープも当然整備対象となっており、それから、瀉の水の浄化事業水田を買収し駐車場を整備しながら、全体的な公園の緑化環境を整えていきたい。

地域住民も参画して

弁天瀉風致公園の将来像は

聖籠海岸整備はなるか

背後地整備を計画

問 平成21年9月から2巡目の新潟国体が開催され、当町でも3種目の競技が行われる。その中のセーリング種目が聖籠海岸で開催されると聞くが、残された3カ年で網代浜船だまり、聖籠海岸の早急な整備を必要とするが、どのような整備計画なのか。

町長 セーリングの大会会場を機に、道路から背後地である保安林の一部を解除する。漁業者の浜小屋機能整備、永久的な施設整備、

また、その後の活用については基本的には漁港であり、マリンスポーツの基地であり、セーリングの普及、啓発、そして基地としての機能整備を漁協、プレジャーボート等の関係者と整合をはかり促進していきたい。



堀 常正議員



▲ 国体セーリング会場（網代浜船だまり）

住所表示の 大字廃止は

時期尚早

問 6年前にも大字廃止の質問を同僚議員が行っている。近隣市町村はすべて市となり、住所記入も短くなったが、当町は今までの住所表示である。前は時期尚早であり今後の課題であるとの答えであったが、大字、字の3文字廃止を検討すべきと考えるが。

町長 大字の廃止となれば全国的に影響を及ぼし、非常に難しい現状にある。聖籠町の実態から考えれば時期尚早であるが、事務的考えの中で鋭意検討を加えていきたい。

一ロメモ ※セーリング ヨット競技の一種。帆走法。航海術。



▲ さらなる景観づくり 弁天瀉

町有地（赤道・水路）売却 の考えは

実態を見て応ずる

問 通称赤道と称された国の土地がすべて、町に移管された。

町長 赤道は、昨年度で町に移管され、地籍図も含めて管理している。今後は利用形態の実態等見ながら、集落の同意を条件として払い下げていきたい。

一ロメモ ※ビオトープ 地域の植物、小動物、昆虫、鳥、魚などが共生できる生物生息空間を保全、造成または復元した場所

スポーツ・福祉・農業・広報など 委員会の重要課題調査報告

アルビレックスの 波及効果は

総務文教

5月17日、町内に開設しているアルビレックス関連施設が、町にどのような波及効果を与えているか調査した。

アルビレッジには県外中学生の強化試合やレイニス大会・大学リーグなど、各種大会に全国から多くの選手が集まってくるが、宿泊施設は新発田市の月岡温泉を利用して実態である。町の

また、アルビレッジには選手達の練習を見学に来る熱心なサポーターが、平日で百人、土日祝祭日には3百人、月平均で1万人が訪れている。

このサポーターを観光など町の産業にどのように結び付けていくかが今後の課題である。

ざぶくん館も検討したが収容人数の点から利用できないとのことであった。昼の休憩時には宿泊施設へ一旦戻ることから、アルビレッジの利用者に対応できる宿泊施設も今後検討する必要があると思われる



社会厚生

介護福祉事業の実態

5月19日委員会を開催し、介護支援事業の実態と、新規事業の生ごみ処理施設について調査した。

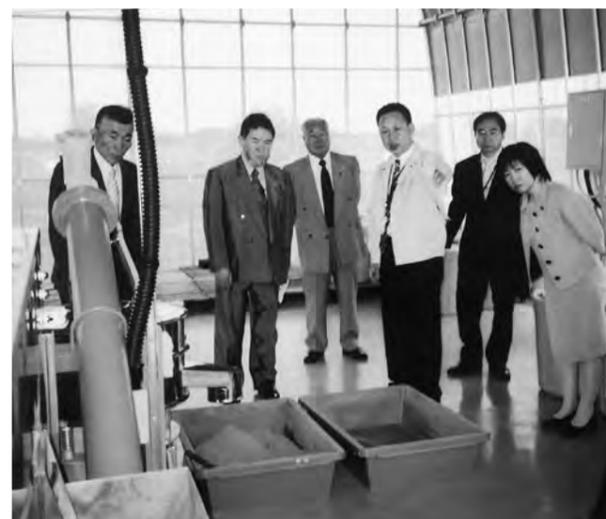
介護支援では、町内の認定率の実態や、新たな地域包括支援センターの創設事業などについて調査確認した。

介護保険料の改定については、本町で500円アップ、県内平均で20・9%、本町は13・9%、県内平均より7ポイント低い状況にある。

今後は、地域包括支援センターの活動により、高齢者の健康増進が、なお一層はかられるよう期待したい。

また、新規事業の生ごみたい肥センターの稼働状況では、24時間で製品化されたたい肥が良質で、今後農家などから、利用促進されるよう望むものである。

閉会中の委員会では、専決処分案3件、議案2件、補正予算5件を調査した。



生産調整一〇〇%

達成に向けて

産業経済建設

5月12日、所管の新規事業について調査を行った。はじめに町の公共用地買収単価が平成18年の土地の評価替えの結果、本町における宅地等が平均15%下落したのに対して、全町の買収単価を15%下げることとした。

整備事業、次第浜阿房堀線拡幅工事、次第浜浜山10号線拡幅工事、網代浜町道下3号線拡幅工事の新規事業について調査を行った。

いずれの事業も、町民要望として有効で、早期の整備が必要と各委員から確認された。

農業関係については、本年の生産調整状況は、配分に対する水稲の作付が約7ヘクタール未達成となり、今後100%達成に向け担当課及び農協で農家の方々に協力をお願いし努力する必要がある。

大豆については、昨年より大幅に増え135ヘクタールになった。

今後の稲作は、消費者の安全安心の高まりから有機質を多く使い、減農薬栽培のこだわり農業支援事業に期待したい。



優秀先進地視察 雫石町・金ヶ崎町（岩手）

議会広報

6月1日、2日と岩手県雫石町議会、金ヶ崎町議会の議会広報の編集方針、編集方法等について研修を行った。

「しずくいし議会だより」は、平成4年5月20日に発行され、町村議会広報全国コンクールに51号が初出品で入選2席となったところである。

本町と違うのは、印刷業者が日程の管理を行い、編集会議にも出席している。



このコンクールで優秀賞を受賞した「議会だよりかねがさき」は、委員長・副委員長がレイアウト、見出し、色あい等、大きな任務分担任していた。

編集については、印刷業者も関わっていた。

参考になる点もあり今後の編集に反映したい。

お知らせ

町政を知るよい機会
議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、9月中旬の予定です。



お願い

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来た
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-2111(内線321)

議会広報対策 特別委員会

議長	長	高松	春雄
委員	長	中村	恵美子
副委員長	長	宮沢	光子
委員		高橋	繁憲
		小川	益一郎
		宮下	晃
		五十嵐	利栄
		桜井	怜

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん



平野 恵美さん
(次第浜)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

主人とは、共通の友達の紹介で知り合いました。はじめの頃は、お互い恥ずかしがりやで、あまり話せなかったけど、2人でどこかへ出かけたり、遊びに行くにつれ、打ち解け合いました。

Q 聖籠町に嫁いで来て どんなイメージを持ちましたか？

私は海が大好きで、近くに海があり、夏には花火大会が行われるので、すごく楽しみです。また、聖籠町では果物を多く作っているの、すごいなあと思いました。

Q 町での生活はどうですか？

とても楽しく過ごしています!!
主人の父が、海でいろいろな魚を獲ってきてくれるので、新鮮な魚料理でいつも楽しい食卓を囲んでいます。

Q 町に望むことはありますか？

最近、子どもが被害にあう事件を耳にするので、これから産まれてくる子どもたちのためにも、安心して過ごせるように改善して行ってほしいです。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新発田市出身で平成18年6月に次第浜に嫁いで来た平野 恵美(旧姓松田)さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

大勢の人が集まる所に配置されることは、大変良いことであるが、有事の時に、その機能が発揮されなければならぬ。
そのためには、公共施設に働く職員や希望する一般町民の方々にも、使い方や心肺蘇生法の指導講習などを受けていただき、有事の場合に誰もが対応できるよう努めていただきたいものである。

議会広報対策特別委員会

委員 宮下 晃

編集後記

本町では、新たに小中学校、町民会館、保健福祉センター、聖海荘、役場など人の出入りの多い公共施設に、自動体外式除細動器(心臓発作の時、正常に近い心臓状態に戻す医療機器。医師でない人も使用可能)を設置することのこと。